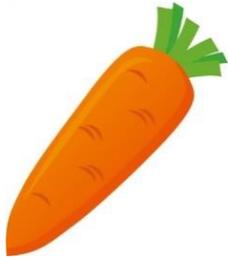


献立ひとくちメモ

7月13日(火)



にんじん（人参）のお話です。

にんじんは、給食をはじめ、毎日の食卓によく登場しています。鮮やかなオレンジ色は料理に彩りを添えてくれます。

にんじんはアフガニスタンが原産国といわれ、シルクロードを伝って東西に広がりました。日本へは江戸時代の初め頃に、中国から赤や黄色、紫色の東洋種が伝わりました。また、西側ではトルコ、ヨーロッパに伝わり、オランダでオレンジ色のにんじんが登場しました。その後、江戸時代末頃に日本へオレンジ色の西洋種が伝わり、明治時代には、より多くの品種が入ってきました。すると、これまでの東洋種よりも、西洋種の方が栽培しやすかったことから、オレンジ色のにんじんが多くつくられるようになりました。